

20回目のビジネスフェア

記念シンポジウムも開催

西武信金

西武信用金庫（東京都、高橋一朗理事長）は11月7日、東京ドームシティでビジネスフェアを開催。昨年を上回る248社・団体が出席。商談および相談件数は約3千件（集計中）を見込む。20回目の開催を記念して、東京ドームホテルで同フェアの歴史を振り返り、今後を展望するシンポジウムも実施。同フェアを含め、延べ5

911人が来場した。会場は「SDGs（持続可能な開発目標）関連」「アライアンス」「医工連携」のゾーンを新たに設け、11ゾーンに分類。グローバルプレゼンコーナーでは、「海外展開・海外人材セミナー」で、フイリピン共和国大使館のディタ・アンガラ・マサイ商務参事官が、新規誘致したフィリピン企業5社を紹介し

た。また、スマートフォンを振るだけで会場の案内や出展製品の情報を表示するN・シエン（東京）の「インフォ・グローブ」を初めて採用。金融機関と連携しプロ人材を中小企業に斡旋しているサーキユレーション（東京）の信澤みなみ氏によるSDGsのセミナーもあった。シンポジウムでは、高橋理事長、企業経営者や大学教授など5人が登壇。「変化の時代をどう勝ち残っていくか」などを討論した。